

平成 29 年度

事 業 計 画 書

公益財団法人 大津市公園緑地協会

## 目 次

I	事業運営方針	1
II	重点事項	1
III	事業計画内容	
1	公益目的事業	
(1)	都市緑化に係る啓発及び普及に関する事業	4
①	緑のイベント事業	4
②	緑の普及啓発活動	4
③	緑の活動支援事業	6
④	緑の体験活動等事業	7
⑤	共通事業	8
⑥	調査研究事業	8
(2)	都市公園等に係る調査、研究及び管理運営、利用促進に関する事業	9
①	都市公園運営事業	10
②	運動施設運営事業	11
③	一里山公園緑のふれあいセンター運営事業	13
④	滋賀県営都市公園指定管理事業	14
2	収益事業	
(1)	駐車場事業	16
(2)	自動販売機運営事業	16
(3)	興行に伴う貸館事業	17
(4)	物品販売事業	17
(5)	公園運営事業	17
(6)	運動施設運営事業	17
VI	平成29年度正味財産予算書	18

## I 事業運営方針

公益財団法人大津市公園緑地協会は、設立以来、大津市における都市緑化の推進及び公園緑地、スポーツ施設の活用を通して、快適で安全な緑溢れる住みよい環境を創造し、地域社会の健全な発展を目的として、事業展開を図ってきたところである。

それぞれの公園での魅力ある環境を提供するため、利用者のニーズを把握し、質の高いサービスと満足度の向上を図るとともに、危機管理意識を高め防災等の対策に取り組み、安全・安心な維持管理を行っていく。

当協会は、指定管理者として「大津市都市公園（213公園）」は、協会単独で、また「滋賀県営都市公園」においては、一般社団法人滋賀県造園協会西地区との共同体で事業運営を行っており、今年度で4年目を迎え、当協会が提案した事業を着実かつ積極的に取り組むと同時に、創意工夫を図り、経営効果を高めていく。

さらに、びわ湖大津観光協会、NPO法人おおつ環境フォーラム等の関係団体から協力を得ながら、管理運営及び事業展開を実施する。

こうした情勢を背景に、公益財団法人移行時に提案した公益目的事業で市民に還元する事業を中心に積極的に推進するとともに、関係法令を遵守し、業務の透明性を確保していく。

そのためには、その財源となる収益事業について事業の効率化を図り、安定的経営と公益目的事業の充実に向け収益の確保に努める。

## II 重点事項

### 1 公益目的事業の推進

「花と緑のまちづくり」をテーマにおおつ花フェスタ等の「イベント事業」、自然観察会やグリーンカーテン等の「緑の普及啓発事業」、緑の少年団の「体験等活動事業」、そして、当協会主催の園芸活動養成講座修了生のボランティアや地域団体、高校生との協働による公共施設の植栽事業、清掃活動等を含め緑化意識の高揚を図るため、積極的に事業展開を行っていく。

また、南北に長い大津市において、将来的に地域ごとに活躍できるボランティアを育成し、「花と緑のまちづくり」事業を拡充して行けるよう努める。

当協会季刊誌「湖都大津 みどり」を発刊し情報提供を発信するとともに、公園内の花の開花状況等をホームページに掲載していく。

運動施設等においては、市民ニーズにあった文化や体育関連の各種教室を開催し、また、親子のふれあい等を目的としたイベントを行い、市民のスポーツ振興と健康増進の推進に寄与する事業展開を図っていく。

スポーツ教室では、利用者アンケートを基に「健康増進検証委員会」の場で、それぞれの取り組みの市民の健康増進について効果、影響の検証を行い、今後の事業改善に努める。

## 2 経営基盤の強化

施設利用を促進する魅力的な事業の展開を行うことで、利用者満足度の向上を図るとともにコスト削減等不断の努力も行い、安定的な経営基盤を目指す。

各運動施設では、当協会ホームページに空状況を掲載して利用促進を図るとともに、施設毎の利用状況、収入、そして利用者の増減等をデータベース化し共有することで、施設稼働率や利便性の向上に役立てていく。

駐車場事業では、利用者拡充を図るため料金の見直しを検討し大津市と協議していく。

また、各所属、各施設において会合を重ね連携を密にし、職員全員が一丸となって事業を遂行できるよう図り、限られた人材を最大限に活用するため、公園・運動施設等の管理・運営の技能や知識の向上を目指した職員研修を行い、自立した組織運営を形成していく。

さらに、将来を見据えた資産運用の強化を図るため、国債等債券を購入し安定した資産運用を行う。

## 3 公園管理の充実

今年度は、大津市が「都市における緑地・広場の適正な保全及び緑化の推進に関する措置を総合的かつ計画的に推進するために策定する第3次緑の基本計画」の見直しの年である。当初、平成9年3月に策定され、今日までほぼ20年が経過するなか、何を重点に見直しされるかを注視しつつ、この間、平成18年度から今日まで、指定管理者として最前線で維持管理、運営に携わってきた協会や公園に何が不足しているのか、何を期待されているのかを検討し、平成31年度からの次期指定管理継続を見据えて、事業計画の策定において、次の3点に特に留意する。

1点目、快適な環境の創造 2点目、利用者に対するサービスの向上 3点目、市民・事業者・協会のパートナーシップの醸成を念頭に事業計画を策定する。

植栽や遊具等の公園施設においては、市民に愛され、親しまれる快適な景観、空間を提供するとともに、安全・安心のまちづくりの観点からも適正な維持管理に努める。また、老朽化が懸念されている遊具等については、点検をより充実させ迅速な対策を講じるとともに、撤去や更新については、大津市や利用者と協議を行い、理解を得る中で速やかな対応を実施する。

運動施設においては、第1種公認の皇子山陸上競技場や、球児憧れの皇子山球場等、今までアスリートを先行させたスポーツ競技の発展に努め、多くの成果を上げてきたが、既に、少子化や超高齢社会を迎え、より一層、市民の健康づくりやコミュニティづくりに貢献でき

る魅力あるイベントやカリキュラムの創出を行っていく。

さらに、各施設の状況を適格に把握するための「意見箱」の設置や公園パトロールの充実、そして「おおつ公園レポ」の普及に努める。

#### 4 環境活動の推進

ボランティアグループ等と協働で、花壇の植栽、ハンギングバスケットによる装飾、ビオトープでの体験活動やグリーンカーテンの設置など環境に配慮するとともに、環境学習を取り入れながら事業を積極的に推進していく。

また、KES環境マネジメントシステムステップ2の事業活動を通じ「省エネルギーの推進」「省資源の推進」等、事業活動に伴う環境への負荷の低減を行っていく。

さらに、ナラ枯れ被害が全国の山林に広がっており、本市の公園でも枯損樹林が拡大していることから、被害の情況を考慮しながら箇所や規模を検討し、関係者等と連携を図り、除去作業等を協働で実施していく。

#### 5 グリーン＆スポーツサポーターの実施

都市緑化啓発事業の促進及び健康増進・生涯学習のため、市民や団体等から広く募金・寄付金を募り、市民協働による花と緑のまちづくりへの環境整備や市民の健康増進に寄与する教室や講座を開催する。

#### 6 次期指定管理者へ向けた準備対応

現在指定管理者として事業運営を行っている「大津市213都市公園」「滋賀県営都市公園」は、平成30年に次期指定管理者公募が予定されている。

のことから、次期指定管理者の獲得を目指し、当協会の事業の見直し、組織編成等を検討するとともに、他都市の指定管理事業を数多く視察し、管理運営方法や自主事業内容等の情報収集を行うことにより、どのような募集内容にも対応できるよう、リバーヒル大石の反省を生かしながら諸準備を着実に進めていく。

#### 7 プライバシーマーク制度の取得

事業者が個人情報の取り扱いを適切に行う体制等を整備していることを認定し、その証としてプライバシーマークを付与し、事業活動に関してその使用を認める制度である。

これまでの取り組みを踏まえ、現在の社会情勢を鑑み、個人情報保護の観点から取得に向け準備を進めていく。

### III 事業計画内容

#### 1 公益目的事業

##### (1) 都市緑化に係る啓発及び普及に関する事業

当協会が推進する「花と緑のまちづくり」をテーマに掲げ、都市緑化に係る啓発イベントや市民協働による緑化活動を推進し、市民の緑化意識の浸透を図り、快適で安全な緑溢れる住みよい環境を創造する。

###### ① 緑のイベント事業

【予算額：8,130千円】

###### ア おおつ花フェスタの開催

市民・事業者・行政のパートナーシップによる花と緑のまちづくりを推進すると共に、花と緑のイベントを通して市民交流を深め、地域の活性化を促すことを目的として市内4か所で開催する。

(開催場所) ・皇子山総合運動公園（4月）

・大津湖岸なぎさ公園（10月）

・和邇公園（11月）

・一里山公園緑のふれあいセンター（4月・10月）

###### イ なぎさ公園シバザクラまつり

平成27年度から2箇年かけ、大津湖岸なぎさ公園のシバザクラ花壇のリニューアルを行った。シバザクラの開花時期に、協働で管理しているボランティアグループとシバザクラの魅力の発信、市民協働による緑化活動の推進のため開催する。

(開催場所) ・大津湖岸なぎさ公園（4月）

###### ウ 皇子山チさくらまつり（新規）

桜の開花時期に皇子山総合運動公園で開催し、市民に桜を楽しんでもらうとともに、公園の魅力を発信することを目的とする。

(開催場所) ・皇子山総合運動公園（4月）

###### ② 緑の普及啓発活動

【予算額：6,000千円】

###### ア 花と緑の7デイズスクール（新規）

花と緑の正しい知識を身につけるための講座を7日間コースで開催する。

また、修了生が地域の緑化リーダーとして活躍することで、緑化推進を図る。

・全7回講座（一里山公園緑のふれあいセンター等）

イ おおつ自然観察会

自然に親しみ、人と自然の関わりについて理解を深めるための観察会を開催し、自然保護意識の浸透を図る。

- (開催場所)    • 皇子が丘公園  
                  • 大津湖岸なぎさ公園 等

ウ 公共施設植栽事業

公共施設等に設置している花壇やフラワーポットに季節に応じた花苗を植栽し、花と緑溢れるまちづくりを推進する。

また、大津の玄関口でもあるＪＲ大津駅前広場において、花と緑の壁面アート（ハンギングバスケット）を、旅の人をお迎えする「おもてなし花壇」として設置する。

- 大津市役所庁舎前
- 皇子山総合運動公園
- 皇子が丘公園
- ＪＲ大津駅前
- なぎさ公園（サンシャインビーチ）

エ 花と緑のまちづくりコンクール【絵画・標語】

公園、花、緑を題材にした絵画・標語を募集し、花とみどり溢れる快適なまちにすることを目的に、緑化推進及び啓発普及を図る。

- 9月審査会

オ 花のまちなみ花壇コンクール

まちなみを彩る花壇を管理している個人・団体に対し、花壇の美しさを評価するコンクールを実施する。

花づくりを通じて市民の緑化意識の高揚、地域コミュニティの増進を図る。

- 7月審査会

カ 公園フォトコンテスト

大津市内の公園での風景、人などを対象にフォトコンテストを実施し、四季折々の公園の魅力の発信を図る。

- 2月審査会

キ グリーンカーテン事業

ゴーヤによる緑のカーテンを大津市所管全支所（36支所）や当協会ボランティアグループの活動施設等に募集を行い、地域における都市緑化の啓発、壁面緑化の推進、ヒートアイランド現象の緩和に寄与する。

また、試験的に実施したツル性植物によるグリーンカーテンの一部実用と、

引き続き、新たなツル性植物の試験的植栽を行う。

ク 園芸・ガーデニングスキルアップ事業

園芸・ガーデニングに関するスキルアップのための事業を、緑の普及、緑化推進、知識向上を目的に開催する。

・体験事業

・講演会

ケ 他団体主催事業への参加による緑の普及啓発活動事業

・大津っ子まつり（5月）

・びわ湖毎日マラソン環境キャンペーン（3月）

③ 緑の活動支援事業

【予算額：9,000千円】

ア ボランティア支援事業

(ア) ハートフル園芸活動支援事業

ハートフルガーデナー養成講座の修了生が講座で修得した知識や技術を生かし、都市公園や公共施設の場で活動することを支援する。

また、ボランティアとして活躍していただいている方を対象に、技術、知識の向上を目的に研修会等を開催し、ボランティアグループの強化を図る。

・5団体（園芸福祉おおつ・かすみ草・四葉のクローバー・ローズクラブ・花遊クラブ）

(イ) すみれ会支援事業

一里山公園緑のふれあいセンターを活動拠点とする「すみれ会」による花苗の育苗及び植栽、除草作業等の活動を支援し、市民協働による管理運営を推進する。

・すみれ会（毎月第1・第3水曜日）

(ウ) ボランティア「緑化サポーター」発掘事業

当協会のハートフルガーデナー養成講座を受講していない市民の方でも、ボランティア活動に意欲のある方なら「いつでも・だれでも」をコンセプトに、ボランティア活動に参加できる機会の提供（ボランティアグループの紹介）、場所の提供を行う。

また、すでに「緑化サポーター」として活躍していただいている方々についても、スキルアップのため研修会等を開催する。

イ 手のひら花苑・花街道事業

市民グループや地域住民が、手のひらのようなかわいい花壇などを街角に

つくることを支援し、花と緑の都市空間、市街地の色彩空間を創造する。

また、参加団体や一般の方対象に植栽やデザインについての講習を開催し、充実した花壇づくりに寄与する。

- ・手のひら花苑 72団体

- ・花街道 7団体

#### ウ 里山保全活動・ビオトープづくりボランティア支援事業

春日山公園や湖岸緑地において、自然本来の潜在的な機能を取り戻し、環境にやさしい市民の憩いの場となるよう、里山保全活動及びビオトープづくり活動を行う。

現在、春日山公園でNPO法人おおつ環境フォーラムの「ビオトープづくりプロジェクト」、「里山保全プロジェクト」が活動を行っている。

### ④ 緑の体験活動等事業 【予算額：2,750 千円】

#### ア 大津緑の少年団事業

次代を担う子どもたちが、野外活動や社会奉仕活動を通して、緑に親しみ、緑を愛し、緑を守り、心豊かな人間に育っていくことを目的とし、小学2年生から6年生を対象に実施する。

- ・緑の募金活動
- ・春の野外活動
- ・夏の野外活動
- ・秋の野外活動
- ・冬の野外活動

#### イ みんなで花づくりプロジェクト事業

発芽室を利用した花苗生産や調査研究を、ボランティアと協働で実施することにより、コミュニティづくりを図る。

また、育苗に成功した花苗を都市公園や公共施設に植栽することにより、花と緑溢れるまちづくりを目指す。

#### ウ プレイパーク事業 (新規)

プレイパークとは「冒険遊び場」とも呼ばれ、子供たちが想像力で工夫してのびのびと思いきり自由に遊ぶことのできる場所のことである。

手始めとして緑溢れる公園で、子供たちが木の実クラフト、竹馬、輪投など様々な遊びを通して、自由に遊べる機会を増やし、子供同士のコミュニケーションの拡大につなげていく。

- (開催場所) • 清林パーク  
• 和邇公園  
• 皇子が丘公園 等

エ 休耕田を利用した体験活動

大石学区の休耕田を借り受け、そば、いも類等の種植えから収穫までを体験をする。自然環境とふれあい、自ら作物を作ることで自然の大切さを学ぶ。

⑤ 共通事業 【予算額：1,847 千円】

ア 環境活動の推進

事業活動による環境影響を低減するため、皇子山総合運動公園管理棟ほか3施設を対象に、KES環境マネジメントシステムに取り組む。

イ 「グリーン＆スポーツサポーター」基金の実施

都市緑化を推進するための事業拡大・拡充と市民の健康増進及びスポーツを介して親子の絆を深める事業の展開を目的とし、弾力的かつきめ細かく市民活動ができる基金とする。

ウ 情報発信事業

都市公園（213公園）、県営公園のホームページを職員が直接入力できるシステム（CMS）にて作成し、フェイスブック等のSNSと共に、四季折々の公園の魅力や各種イベント・教室等の情報・活動結果報告等をリアルタイムに発信し、市民の利便性の向上、公園利用の促進を図る。

また、各公園の様々な履歴等を管理できる「公園カルテ」と、市民からスマートフォンを利用して、公園の剪定箇所等の課題解決や季節の花などの写真を投稿できるシステム「おおつ公園レポ」の運用を行い、市民や利用者との一体的な管理運営を目指して行く。

引き続き、当協会季刊誌「湖都大津 みどり」を発刊し、より多くの市民に情報提供を図ると共に、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等、さまざまな広報媒体を活用し積極的な情報発信を行い、当協会のPRの強化を図る。

⑥ 調査研究事業 【予算額：1,980 千円】

ア ハツミヨザクラ育成調査

ボランティアグループによって、皇子が丘公園内のハツミヨザクラのひこばえを採取し、挿木に成功した苗を、一里山公園、皇子が丘公園に植栽した。

植栽したハツミヨザクラの育成調査を行い、結果に基づき、他の公園及び公共施設の植栽場所を精査し、リニューアルを検討する。

#### イ 発芽室設置に伴う調査研究

「花緑ボランティア協議会」等にて、ボランティアのみなさんと発芽室を利用した花苗生産を行うとともに、珍しい品種等の生産の調査研究を実施する。

また、発芽後の育苗について生産率向上のためにも育苗室の設置を検討し、生産した花苗を公共施設や市民へ還元できるサイクルを構築する。

#### ウ モニタリング調査

公園及び施設利用者のニーズを把握するため、アンケートを不定期に実施し、利用者サービスの向上を図り、改善等においては今後も迅速な対応を行う。

#### エ エコ芝生管理調査研究

滋賀県が配布している琵琶湖で刈取った水草のたい肥について、芝生の土壤に利用できるか調査研究を行ってきたが、ある一定の成果が見られたため、今後は他の植物への活用について、引き続き調査研究を行う。

### (2) 都市公園等に係る調査、研究及び管理運営、利用促進に関する事業

指定管理者として指定を受けた公園や運動施設の適切な管理運営を行い、快適な都市環境の形成やスポーツ振興をはじめ、市民に親しまれる憩いの場として、健康づくりやレクリエーション利用の促進に寄与する。

公益目的事業公園一覧（17公園）

公 園 名	公 園 施 設
堅田雄琴湖岸公園	散策園路広場
雄琴臨水公園	プール・ゲートボール場・駐車場
皇子が丘公園	景観木植栽・日本庭園・体育館・第2体育館・グラウンド・テニスコート・プール・弓道場・野外劇場・駐車場
尾花川公園	テニスコート
皇子山総合運動公園	景観木植栽・国体広場・野球場・陸上競技場・グラウンド・テニスコート・駐車場
長等公園	景観木植栽・日本庭園・散策園路・ゲートボール場
大津湖岸なぎさ公園	散策園路広場・プール・駐車場（7か所）
茶臼山公園	景観木植栽・散策園路・グラウンド・ゲートボール場・駐車場
膳所城跡公園	景観木植栽・散策園路広場・テニスコート・野外劇場

公園名	公園施設
南郷公園	景観木植栽・散策園路・プール・ゲートボール場・駐車場
大石緑地	景観木植栽・散策園路・全天候多目的グラウンド
曾東緑地	園路広場・グラウンド・テニスコート・ゲートボール場・駐車場
田上公園	園路広場・グラウンド・テニスコート・プール・駐車場
唐橋公園	景観木植栽・散策園路広場・グラウンド・テニスコート・プール・駐車場
一里山公園	緑のふれあいセンター多目的室・市民花園・多目的広場・駐車場
瀬田公園	景観木植栽・散策園路・体育館・グラウンド・憩いの広場・駐車場
月輪大池公園	景観木植栽・散策園路・グラウンド・駐車場

## ① 都市公園運営事業

【予算額：231,423千円】

公園運営においては、「安全・安心・快適な公園」を目指し、防犯や景観形成を図るため、パトロールの強化をはじめ、計画的に樹木剪定や除草などに取り組む。

特に、伽藍山公園、長等公園、茶臼山公園、皇子が丘公園など歴史のある公園では、樹木が繁茂し、中には巨木化して倒木の危険があるため、調査を行い、大津市とも調整を図りながら計画的に伐採等を実施する。それに伴い大量に発生する剪定枝等については、省資源化に向けたリサイクル化に努める。

また、地域のニーズに応えより活動を活性化させるため、自治会住民等による公園清掃活動で集積される剪定枝や草、ゴミ等の回収依頼や施設の修繕等の要望事項には迅速に対応を行うこととしている。

さらに、地域の繋がりをより広げていくため、学校教育の一環として取組めるよう公園近傍の高等学校の清掃活動の協力・支援を引き続き行う。

公園を拠点とした防災施策として、「おくどさんベンチ」を主に広域避難場所や避難所に設置してきた。近年、防災意識の高まりと共に、各地区で自主防災組織が立ち上げられ様々な取り組みが活発になって来ている。このことから、今後とも、地域の設置要望や自主的設置事業に対して支援や技術指導等、住民との協働で取り組んで行く。

例年実施している「遊具みまもり隊」を県教育委員会の学習情報提供システム“におねっと”内「学校支援メニュー」に登録し、県内の学校等の要請に応じ、園

児や小学生対象に正しい遊具の遊び方教室の出前講座を実施する。

#### 公益目的事業

施設名	事業名	開催日等
公園	愛犬マナー教室	4回
	防災危機管理「おくどさんベンチ」	地域要望に対応
	遊具みまもり隊	地域や保育園、幼稚園等の要望に対応
	ナラ枯れ対策「公園林保全作戦」	茶臼山公園、瀬田公園、小野妹子公園他 5月～9月
	地域ボランティア活動の推進	
	御呂戸川緑地 (北大津高校)	
	皇子が丘公園 (大津商業高校)	
	なぎさ公園 (大津高校)	
	膳所城跡公園 (膳所高校)	
なぎさ公園 (大津市シルバー人材センター うちで会)		
プレイパーク (再掲)		9回

#### ② 運動施設運営事業

【予算額：288,648千円】

運動施設においては、見るスポーツの舞台として各種競技団体と協議し、より高いレベルの試合を誘致し市民に提供するとともに、市民の健康増進のためのスポーツ・レクリエーション振興を図るため、快適で利用しやすい施設運営に努め、毎月の予約抽選会後の利用受付を電話での予約も可能とする取組を始める。また、協会ホームページで予約申請書をダウンロードできるようにし、利用者の利便性を向上させる。

公益目的事業については「健康増進検証委員会」の結果を踏まえ、公的施設を管理運営する公的機関の役目として、市民に運動をするきっかけとなるような事業を開発し、参加者に運動習慣が付くような働きかけを行う。

瀬田公園体育館、皇子が丘公園体育館においては、体育館の機能を活かし、スポーツ以外の文化的活動としての各種教室も開催して行く。

#### 公益目的事業

施設名	事業名	開催日等
皇子山総合運動公園 陸上競技場	ジョギング教室	3期（30回）
	芝生化運動	6月
	シニア野球	2期（12回）
	ガンバレ部活応援事業	通年
	びわ湖毎日マラソン「環境キャンペーン」	3月
	春休みスポーツチャレンジ・デイ	3月
	子どものためのスポーツ栄養学（新規）	1回
皇子山総合運動公園 野球場	ベースボールデー（新規）	4月
	第10回皇子山球場少年少女野球教室	11月
	皇子山球場少年少女野球教室	通年（7月～9月除く） 火曜コース 木曜コース
	皇子山球場子どもグラウンドキーパー	7月（5回）
	春休みスポーツチャレンジ・デイ	3月
	皇子山ソフトボール教室（新規）	12月
	サマーナイトヨガ	8月
皇子が丘公園プール	アクアビクス教室	3期（36回）
	ウォーキング教室	3期（36回）
	スイム基礎レッスン	3期（36回）
	健康教室	4, 7, 9月（3回）
	水中親子水泳教室	5, 6月（3回）
	着衣泳教室	7月
	春休みスポーツチャレンジ・デイ	3月
皇子が丘公園体育館	ガンバレ部活応援事業	通年
	親子体操教室	9～2月（6回）
	成人体操教室	4期（32回）

施設名	事業名	開催日等
皇子が丘公園体育館	カントリークラフト教室（新規）	1回
	ノルディックウォーキング	4期（8回）
	手芸教室（新規）	1回
	バスケットボールスクール	通年
瀬田公園体育館	子ども体操教室	3期（30回）
	子ども生け花・茶道教室	8回
	手芸教室	3回
	カントリークラフト教室	2回
	利用者団体作品展示会	2回
	南部学区スポーツ大会	2月（1回）
	みんなで遊ぼう！IN瀬田	4, 9月（2回）
	ガンバレ部活応援事業	通年
	夏休み短期子ども体操教室	8月（5回）
	デコデコスイーツ教室	1回
	スクラップブッキング教室	1回
	多肉植物寄せ植え教室	1回
	クリスマスリース教室	1回
	工作おじさんのクリスマス飾り教室	1回
	お正月飾り教室	1回
	キットパスを使った手形アート（新規）	1回
	デコパージュ教室	1回

### ③ 一里山公園緑のふれあいセンター運営事業

【予算額：15,620千円】

当施設はバリアフリー施設として高齢者、障がいの方にも利用しやすく、園芸、緑化活動、剪定等の各種教室を年間通して開催するとともに、ボランティア「すみれ会」の会員や地元住民との協働によるイベントを実施する等、地域コミュニティの増進に努める。

また、発芽室の効率利用を図り、イベントでの配布及び公共施設等に植栽する花苗の育成に努め、「緑の発信基地」としてさらなる充実を目指す。

なお、毎週水曜日には「緑の相談窓口」を開設し、花と緑に関する多様な市民ニーズに対応する。

さらに、「市民花園」については、利用者の希望も踏まえて、引き続き利用条件の制限を緩和するとともに、瀬田地区の各市民センターにもポスター・チラシの掲示及び配布の協力を依頼して募集を行い、利用促進を図る。

#### 公益目的事業

施設名	事業名	開催日等
一里山公園 緑のふれあいセンター	花と音楽フェスタ	4月
	秋の花フェスタ	10月
	山野草展	4月
	さつき展	5月
	オランダフラワー教室	8回
	版画教室	12回
	ガーデニング教室	18回
	盆栽教室	12回
	山野草教室	6回
	ブリザーブドフラワー教室	6回
	フラワーアレンジメント教室	6回
	松の剪定教室	4回
	デコパージュ教室	1回
	絵手紙教室（新規）	4回
	緑の相談窓口	通年

#### ④ 滋賀県営都市公園指定管理事業

【予算額：2,956千円】

4地区（生川木戸川地区、和邇真野地区、堅田雄琴地区、北大津地区）の湖岸緑地及び2公園（春日山公園、尾花川公園）の滋賀県営都市公園の指定管理事業である。

湖岸緑地においては、湖岸の景観や自然特性を活かし、観光資源としての活用、ビオトープの整備など、自然と人が調和した適正なレクリエーションの利用誘導等を図る。

春日山公園については、市民・県民が自然や歴史文化を享受できる緑の拠点として、自然との触れ合いの場、里山保全活動の実践の場、スポーツや散策、休養慰楽の場として幅広く利活用できるよう管理運営を行う。

一方、イノシシによる被害が公園全体に広がっており、利用者の安全、施設の保

全のため被害の軽減について、さらに専門家等の協力を得ながら調査研究を行う。

また、尾花川公園については、競艇場との緩衝緑地機能の維持、近隣住民が安全・安心して利用できる憩いの場となるよう管理運営を行う。

これらの公園を特性に応じ円滑に運営していくためには、地域住民をはじめ関係団体等の参加、協力が必要であり、マナーアップイベント、クリーンアップイベント等の環境保全事業やミニクロスカントリー大会やノルディックウォーキング大会、さらに里山保全活動やビオトープづくり等、活動やイベントに関わるボランティア等の支援にも力を入れ、より多くの人々が集い、親しめる緑地・公園の運営を目指す。

#### 公益目的事業

施設名	事業名	開催日等
湖岸緑地	マナーアップキャンペーン	2回
	マナーアップイベント	2回
	クリーンアップイベント	1回
	ビオトープ再生ボランティア支援	4回
	自然観察会	1回
	マイパークサポーター	通年
	剪定教室	1回
春日山公園	ミニクロスカントリー大会	1回
	ミニクロスカントリー教室	2回
	ノルディックウォーキング大会（新規）	1回
	ビオトープづくり活動	通年
	里山保全活動支援	通年
	自然観察会	1回
	ナラ枯れ対策「公園林保全作戦」	5月～9月
	マイパークサポーター	通年
尾花川公園	子どもスポーツ教室	1回
	グランドゴルフ等利用促進	2回
	マイパークサポーター	通年

## 2 収益事業

便益性や事業収益の向上を目的とするとともに、経費のコスト削減に努め、効率的、効果的な事業運営を推進して行く。

また、公益事業とのバランスに配慮しつつ、安定的な財政基盤の確立に努める。

### (1) 駐車場事業

【予算額：12,000 千円】

大津市の都市機能の増進と公園利用者に利便性を図るため、7か所の駐車場の管理運営を行う。

駐車場管理システムの老朽化に伴い機器のトラブルが発生し利用者に迷惑をかけていたため、平成26年度から新機種の導入を図り、膳所・晴嵐の道A、Bを除いて入替えが終了した。A、Bの駐車場は立地上から他と比べて利用台数が少ないため、利用増加を図る方策として、一定の時間を超えても料金が加算されない上限額を設ける手法に切り替えるよう検討を行う。

駐 車 場 名	収容台数	駐 車 料 金
おまつり広場駐車場	75	普通乗用車 1 時間まで 210 円 2 時間まで 320 円 3 時間まで 430 円 以降 30 分毎に 210 円 大型バス 2,160 円 マイクロバス 1,510 円
打出の森駐車場	60	
プロムナード駐車場	50	
市民プラザ駐車場	74	
サンシャインビーチ駐車場	233	
膳所・晴嵐の道A駐車場	50	
膳所・晴嵐の道B駐車場	41	

### (2) 自動販売機運営事業

【予算額：1,500 千円】

大津湖岸なぎさ公園をはじめ、一般公園や運動施設に計44台の自動販売機を設置し、清涼飲料水等の販売を行い利用者の利便性を図る。

飲料水自販機常設公園	設置台数	飲料水自販機常設公園	設置台数
清林パーク	2	大津湖岸なぎさ公園	13
堅田内湖公園	1	唐橋公園	1
やまゆり公園	1	南郷公園	1
比叡辻臨水公園	1	月輪大池公園	1
皇子が丘公園	1	一里山公園	1
皇子山総合運動公園	4	瀬田公園	4

飲料水自販機常設公園	設置台数	飲料水自販機常設公園	設置台数
公園緑地協会管理棟	1	青山中央公園	1
長等公園	1	県営春日山公園	2
大津駅前公園	2	県営衣川公園	2
茶臼山公園	2	県営唐崎園	2

(3) 興行に伴う貸館事業 【予算額：600 千円】

市民に文化体育イベントを鑑賞・観覧する機会を提供すると同時に、入場料の一部を収益とする。

また、皇子山球場でのプロ野球誘致の調査・研究を行う。

(4) 物品販売事業 【予算額：1,100 千円】

一里山公園緑のふれあいセンターでは花苗販売や園芸グッズ、皇子が丘公園プールでは利用促進を図るため水泳用品の販売を行う。

また、利用者の利便性向上から急な降雨時等の対応のため、ビニール傘を各施設で販売する。

(5) 公園運営事業 【予算額：163,060 千円】

和邇公園をはじめ市内164公園（近隣公園31・街区公園等129・風致公園2・緑道2）、32緑地をこれまでの実績を生かし、市民が安全・安心に利用できる維持管理運営業務を行う。

主な業務：清掃、除草、便所清掃、ゴミ収集、遊具及び施設点検、修繕（公園灯、便所、遊具等）

(6) 運動施設運営業務 【予算額：2,000 千円】

無料運動施設（グラウンド2面・テニスコート14面）を市民が安全・安心に利用でき維持管理運営業務を行う。

主な業務：点検、グラウンド整備、除草、修繕